

【新年度が始まりました】

新しい年度が始まり約 3 週間が経とうとしています。新しい環境にもそろそろ慣れてきたことでしょう。

さて、始業式にお話ししましたが、今年度は、一つレベルアップした北高スタンダードを目指して生活を送りたいですね。また、安全・安心な学校生活・登下校ができるよう何事にも気をつけた言動を心がけてください。

始業式から2週間が過ぎ、何点か知らせておきたいことがあるのでここにあげておきます。

【通学時の交通ルール遵守していますか？】

登下校時、ルール違反やマナー違反をしていませんか？

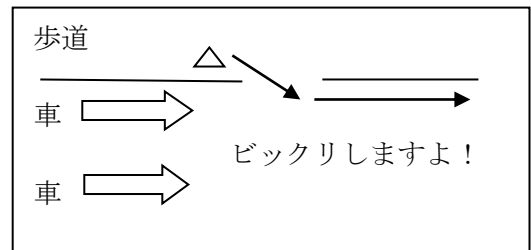
多くの人が、自転車を利用して通学していますが、以下の点に注意しましょう。また、新入生の皆さんは行動に甘え（これくらいなら。。自分だけなら。。）がでている場面を見かけます。それは許さることではありません。

① 自転車で歩道を通行するとき

歩道は、あくまでも歩行者のための道路です。基本、自転車は車道を通行します。ただし、極端に危険な場所や交通量の多い道路では、歩道を通行することが許されている場合があります。学校の前の道路などもそうですね。でも、ルールがあります。自転車は、歩道の中央から車道側半分を通るルールです。なおかつ、いつでも止まれる速度です。登下校ピーク時はなかなか難しいところもありますが、歩行者が「怖い」と感じるスピードであったり、集団を見て、歩行者が遠慮するような通行の仕方は良くないですね。あくまでも、歩行者優先です。配慮に欠ける乗り方はやめましょう。

② 車道を走るのにも・・・

歩道に歩行者がいるところで、歩行者を追い越すために車道に入る自転車を見かけます。しかしながら、とても危険に感じます。危険なところはどんなところだと思いますか？それは、自転車を運転している生徒が、後方の安全を確認せずに歩道から車道に飛び出すことです。全くと言っていいほど無防備な君たちです。これでは事故が起きない方が不思議です。先生方でも、ヒヤットする場面を何度も見ているそうです。登校時の学校付近では十分注意してください。



③ 信号のない交差点の通行では・・・

信号のない細い路地での交差点にも、道路の優先方向があります。自動車は「止まれ」の表示や標識を見て運転をしています。「止まれ」があれば一旦停止しますし、無ければ優先方向と思い止まりません。君たちは一旦停止をしていますか？ルールに沿った行動ができれば、事故は回避できますが、そうでない場合事故が起きます。特に住宅地など見通しの悪いところでは要注意です。また、いくら細い路地だからといっても左側を通るルールです。このことで、出会い頭の事故はかなり回避できるはずです。

【配慮のある交通マナーできていますか？】

④ 高齢者や親子連れには最大限の注意を！

高齢の方は、私たちより動きが緩慢になるのは仕方ないことです。また、小さな子供の親子連れの歩行者も、子供は予想だにしない動きをします。十分減速し、相手に恐怖心を与えないように運転することを心がけてください。

誰もが安全に通行できる街を目指しましょう